

経済産業省と東京証券取引所が全国で一業種一社、48社を選定

# 「健康経営銘柄 2021」に 日東精工が選ばれました!



健康に関する当社の様々な施策・取り組みは社外からも高くご評価いただくようになり、3月4日には「健康経営銘柄 2021」と「健康経営優良法人 (ホワイト500)」にダブルで初選定されました。今号では代表取締役常務の荒賀誠が当社「健康経営」についてご紹介していきます

## 健康経営の礎は企業理念

当社には企業理念をまとめた冊子『我らの道』がありますが、そのなかの我らの信条で最初にうたっているのが〈一、我らはよい自己をつくる健康を増進し 品性を養い 知識を求め 技術をみがいて 健全な人格をつくる〉です。



今でこそ「健康経営」は企業価値を測る一つの指針になっていますが、かつては「モーレツ」であることが美德とされ、「24時間働けますか?」といったCMも流れるなど、多少無理をしてでも遮二無二に働くことが良いという風潮がありました。しかし、そんな時代にあっても、あるいはそれ以前、半世紀以上も前から、当社では社員一人ひとりが心も身体も健康であること、〈よい自己をつくる〉ことを、まずいちばんにおいてきました。

そして標語、スローガンだけで終わらせることなく、その時々に応じて対策を行ってきたことが、今回の「健康経営銘柄 2021」の選定につながっ

たのだと思います。同時に経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2021 (ホワイト500)」にも選定され、また今年、これに先立ち1月にはスポーツ庁から、従業員の健康増進に積極的に取り組む企業として「スポーツエールカンパニー 2021」の認定も受けています。



「健康経営銘柄」とは企業価値の向上を重視する投資家に対して、健康経営に取り組む企業が社会的に評価され、健康経営の取り組みがさらに促進されることを目指すもの。「健康経営優良法人」とは健康経営の実践に向けた基礎的な土台づくりとワークエンゲージメントといった企業の取り組みが評価されるもので、日東精工はその上位500法人に該当。「スポーツエールカンパニー」とはスポーツ活動を積極的に取り組む企業を「見える化」し、「従業員の健康管理を戦略的に取り組んでいる企業」として認定するものです

## 中期経営計画で健康経営を加速化

ここ数年の当社の健康への取り組みの一部をご紹介すると——2019年から始まった中期経営計画

「NITTOSEIKO Mission “G”」の戦略テーマに「健康経営」の概念を盛り込み、社員のQOL（生活の質）のいっそうの向上を図ってきました。

具体的には、健康経営推進委員会を発足させ、「生活習慣病などの疾病発生予防・重篤化予防」、「メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の予防」、「労働時間の適正化、ワークライフバランスの確保」を重点課題に掲げ、その取り組みとして、従来から実施している「朝のラジオ体操」や「野球、バドミントンなどの部活動」に加え、体力づくり強化月間を制定し、体力年齢チェックの実施や当社オリジナルの健康プログラム「Nicotto7（ニコット7）」を立ち上げてチャレンジしています。



上の写真は当社野球部(左)と朝の「ラジオ体操」。当社では世界ランキング1位を擁するパラグライダーをはじめ、野球、バレーボール、バドミントン、少林寺拳法など部活動が盛ん。自社体育館を所有すると同時に市の施設「日東精工アリーナ」をスポンサーするなど、地域のスポーツ振興、健康づくりもサポートしています。「Nicotto7」は、朝食をきちっととったか、睡眠時間が足りているか、休肝日を設けているかなど7つの項目をチェックしていく当社独自の健康プログラムです

2020年2月には、健康保険組合連合会から与えられる「健康優良企業認定証『銀』」を取得し、またほぼ同時に、経済産業省から与えられる「健康経営優良法人2020（大規模法人部門）」を認定。そして既述のように本年の「スポーツエールカンパニー2021」や「健康経営銘柄2021」「健康経営優良法人2021（ホワイト500）」認定へとつながっています。

「健康経営銘柄2021」は東京証券取引所の上場企業の中から従業員の健康管理を経営的な視点で捉え、積極的に取り組む企業を評価し、原則1業種につき1企業を選定するものです。全国でわずか48社のなかのひとつとして、トヨタ自動車や花王、富士フィルム、味の素など知名度の高い企業とともに日東精工が選ばれたことを誇りに思うと同時に、それだけ高い社会的責任を担ったことを肝に銘じたいと思っています。

また当社では昨年、医療用照明器「フリーレッド」の販売を開始したほか、P3でも紹介している「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」開発など、医療分野をファスナー、産機、制御システムに次ぐ4本目の柱と考えています。医療分野に携わる以上「健康経営」をより一層充実させてまいりたいと考えています。



「健康経営銘柄2021」のポスターは、経済産業省のホームページからダウンロード可能。48社が紹介され、全国的に知名度の高い企業のトップとともに当社社長も掲載されている

<https://www.meti.go.jp/press/2020/03/20210304004/20210304004.html>

## 多くのメディアが注目! 世界初の「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」

日東精工と京都府立医科大学・富山大学などのグループが京都府の支援を受けて「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」を開発。特許出願を行い、本素材を用いた医療用インプラント



マグネシウムは漢字で「鎂」と書く。純度99.95%以上に精錬した美しいマグネシウム

製品の開発に本格的に着手することを2月18日に記者発表しました。

骨折手術などで骨の固定に使ったあと、役目を終えると身体の中で溶けてしまう医療用インプラント製品（髄内釘やねじ）に適した高純度マグネシウム材料の開発に成功したというものです。従来の骨折治療にはチタン合金やステンレス製の金属製インプラントが使われ、骨の接合後に抜去する手術が必要でしたが、それが不要となる世界初の画期的なものであること、これまでの医療常識を大きく変える可能性が高いこともあり、さまざまな形でメディアにご紹介いただきました。

今後も情報発信していく予定ですが、その一部をご紹介します。

### ☆全国紙、地元紙、地域紙、業界紙で速報

記者会見をしたその日の夜の19時過ぎに京都新聞デジタル版で速報として取り上げていただきました。京都新聞や毎日新聞には紙面とデジタル版で大きくご

紹介いただいたほか、朝日新聞は記者発表翌日に「日東精工がストップ高気配、医療用高純度マグネシウムの開発に成功」との見出しで、デジタル版経済面で取り上げていただきました。

また地元あやべ市民新聞に一面トップで紹介されたほか、電波新聞、北近畿経済新聞などの業界紙、地方紙と共同通信の「47ニュース」などにも掲載されました。京都府や京都府中小企業技術センター、富山大学などの共同研究開発関係のホームページ、日本ねじ工業協会のホームページなどにも紹介されています



2月24日付「あやべ市民新聞」

### ☆医師専門の会員制サイト「MedPeer」

#### MEDICAL NEWS LINEで放送

「MedPeer」は医師専用の医療サイトで現在、会員約12万人、日本の医師の3人に1人が参加しているサイトです。このサイトに協力する東京のMXテレビから連絡をいただき「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」の取材を受けました。「MedPeer」のMEDICAL NEWS LINEで紹介されました。

日東精工はファスナー、産機、制御システムの3つの事業に加え、新しい柱として「医療分野」への拡充を図っていますが、多くの医療従事者に当社の開発技術を訴求できました

## 2020年12月期 第115期 決算説明会を開催しました

3月9日、東京・日本橋にある日本投資環境研究所で当社の2020年12月期決算説明会を開催しました。中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」のもと、当社はこれまで増収増益を続けてきましたが、今期はコロナ禍で、成長戦略からいったん社員を守るシフトに変更したことから売上高、純利益ともに前期対比減となりました。しかし今後への布石は多く打っており、実際、V字回復の兆しがあることな



感染対策をしっかりとらうえて開催。今回は会場だけでなく、リモートでもたくさんの方に参加いただきました

どを、当社代表取締役社長材木正己がご説明し、多くの質問にも回答申し上げました。当社では経営の透明性をいっそう図り、これからも等身大の姿をご報告、発信し続けてまいります。





## ますますよくなる。必ずよくなる！

### 戦

時中に竹槍で爆撃機を落とす訓練がされたという話があります。もちろん、非現実なことでした。実際、根性や精神論だけでは、どうしようもないことはあります。

そして今の時代、AIなどが進むほど、未来予測の精度も上がり、なにごできて、なにができないかなども、詳細に判別できるかもしれません。その一方で、感情を侮ることもできません。たとえば、幅5センチほどの白線の上を「線からはみ出さずにまっすぐ歩いてみて」といわれたとします。ケガをしていたり、高齢者だったり、身体にハンディがあったりすれば別ですが、たいていの人はいともたやすくできるでしょう。

でも高層ビルのビルとビルの間に、50センチ幅の板を渡して「この板の上を歩いて隣のビルに移るように」といわれると、同じ50センチ幅でも、今度はほとんどの人が「落ちたら死んでしまう」と恐怖で

足がすくんで、前に進めなくなってしまうでしょう。

☆

〈想像力と意思が争うとき、必ず想像力が勝ち、例外はない〉これは心理療法者(博士)エミール・クーエの言葉。

たとえば、昔、おぼれて苦しい思いをした人は「安全対策をしたから大丈夫」といくら理詰めで説明されても、いざ水の前に立つと過去の記憶がよみがえり、恐怖を感じてしまいます。意思や理性よりも、イメージ・想像力が優先されてしまうのです。

相撲で横綱が強いのはたしかにそれだけの力があるからですが、出稽古などで圧倒的な力を見せつけておいて、もうかなわないと下位の力士にイメージを植えつけるからです。よい結果を得るためには、いかにプラスのイメージをもてるかが大切です。エミール博士は、自分にとって気持ちのいい言葉を繰り返し唱えることで、それを脳にインプット

トする大切さを患者に説き、実際、高い効果を上げました。具体的には、毎日、朝晩1日2回、「私は毎日あらゆる面で、ますますよくなっている」と繰り返し20回唱える。

これだけで心身ともに好転させることができたのです。エミール博士が活躍したのは、100年も前なのですが、この理論がベースになった「アフアメーション(自分への積極的・肯定的宣言)」は、今

も多くのトップアスリートに取り入れられているそうです。

肯定的な言葉を繰り返し口にしていきたいと思います。実際、弊社ではこの春、医療分野で「高純度マグネシウム材料」の開発に世界で初めて成功したことをリリースできました。し、巻頭特集で紹介したように、健康経営を各方面から高評価いただき、新しいよい風

がたくさん吹いています。「よいことがある。ますますよくなる。きっとよくなる。必ずよくなる」を合言葉にして、皆で一丸となって前に進んでいきましょう。

### 連載 66

#### あやべ ちょっと寄り道

#### 1億5000年前の岩！

あやべではかつて高速道路建設の過程で古墳が発見されました。今は古墳の下を高速道路が走る、古墳公園として整備されています。

そして今年1月、福知山方面に向かう京都府道沿いで、むき出しになっている岩に、なんと1億5000年の歴史があることがわかったのです。はるか昔に、何千キロも離れた大陸の縁からプレートにもぐりこみ運ばれてきた岩石で「丹波層群」と呼ばれるものだそうです。

人も車も自由に行き来できる道に、1億5000年の歴史の重み。日東精工本社のある、あやべは、道路にも夢・ロマンがあるのです！



1月27日付あやべ市民新聞の一面で大きく紹介

